

習志野市子どもの読書活動推進計画 中間年度における取組内容の見直し
各所属における今後の取組案 一覧表

回答部署 (関係部署)	(関連事業番号) 事業名	今後の取組案
こども保育課 (幼保こ園)	(1) 本の読み聞かせや家読の推奨	施設で読み聞かせをした絵本(本)の保護者への紹介 1. 各施設に導入された、「コドモン」(保護者から施設への欠席連絡等に用いられるほか、施設からも各種連絡事項を保護者に発信できる保育業務支援システム)を活用し、各施設から保護者に、施設で読み聞かせした絵本(本)のタイトルを配信する。(絵本の表紙画像を配信する際は、書名、著者名、出版社名を要明記) 2. 施設の状況に応じ、玄関に絵本(本)の 展示をして実際に手に取れるようにする。
こども保育課 (幼保こ園) (図書館)	(69) 学校だより、園だよりを活用した啓発	未就学児向けのお薦め絵本(本)の紹介 おすすめの絵本や年齢に応じた絵本のブックリスト(図書館HPに公開済)をコドモンから配信する。あわせて、ブックリストに掲載されている本は、図書館HPの「特集本」サイトから直接予約できることも周知する。
子育て支援課 (図書館)	(2) ブックスタート事業の実施	ブックスタート事業は令和元年度まで4か月児健康相談の際に、民生委員児童委員の協力の下(平成28年度からは谷津図書館の協力も得て)、絵本とコットンバックを配付してきた。しかしながら、コロナ禍により令和2年度以降は健康支援課職員から配布する他、相談中止期間については申し出により子育て支援課窓口や最寄りの各こどもセンター等で配付している。 配付割合が低下していることから、絵本の受け取り方法について広報習志野で周知を図る予定である。
子育て支援課 (こどもセンター、きらっこルームやつ) (図書館) (社会教育課)	(32) 移動図書館の学校への巡回 (34) 出前講座の実施 (37) こどもセンター・きらっ子ルームにおける読書環境の充実	図書館とこどもセンター(篤沼)・きらっ子ルームやつの新たな連携を図る。 1. 両施設ではコロナ禍で講座の開催を中止してきたが、再開を検討するにあたり、図書館に依頼し、保護者向けの講座(「絵本の読み聞かせ講座」や「絵本の選び方講座」)を依頼できればと考える。 2. こどもセンターにおいて、以下3点を周知し親子がより多くの絵本に親しめるきっかけを作る。 ①移動図書館の巡回予定(巡回予定は現在も施設カレンダーに掲載中) ②市役所社会教育課でも予約図書を受取りが可能となったこと ③中央図書館の読み聞かせ講座等のイベント 3. 予算の都合上、一施設での新しい図書の購入には限りがあるため、図書館の団体貸出の利用や、図書館の寄贈図書・除籍資料の提供を受けることで、親子に多様な絵本を楽しんでもらったり、子育てに悩む保護者向けに関連図書を手に取ってもらう機会を作る。
子育て支援課 (こどもセンター、きらっこルームやつ) (図書館)	(8) 絵本コーナーの設置 (65) こどもセンター・きらっ子ルームに おすすめ絵本リストの設置	絵本コーナーは、職員が選書し、親子で手に取れるようになっている。 現在、コロナ禍で閉鎖中となっている、こどもセンターの「絵本のおへや」の再開にあたり、図書館が作成した「おすすめの絵本のリスト」や「発達障がいに関する本のリスト」の他、ポップで「先輩ママの声」、「司書さんおすすめ!」、「今月のおすすめ」など、様々な角度から本を紹介できると良いと考える。
子育て支援課 (こどもセンター、きらっこルームやつ)	(69) 学校だより、園だよりを活用した啓発	保育所等の例に倣い、こどもセンターやきらっ子ルームやつでも施設カレンダー等を活用し、保護者に読み聞かせの大切さや、おすすめの本を紹介する。

習志野市子どもの読書活動推進計画 中間年度における取組内容の見直し
各所属における今後の取組案 一覧表

回答部署 (関係部署)	(関連事業番号) 事業名	今後の取組案
指導課 (各学校) (図書館) (社会教育課)	(20) 学校司書の活用 (48) 学校図書館の効果的な運用 (68) 読書指導の充実	<p>1. 学校司書を活用した学校図書館の充実を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> 一部の学校では既に、学校司書が授業に積極的に参加して、ブックトークや資料探しの補助などを行っている。それらの取組を全市に広げていくため、学校図書主任会議をはじめとする様々な機会を利用して、活用事例の紹介等を行い、各学校間の情報共有を図っていく。あわせて、担任や児童生徒に対しても、学校図書主任や学校司書から、学校図書館でできることを積極的に周知していく。 <p>2. 学校と市立図書館の連携を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> 一部の学校と図書館では、コロナ禍で中断していた学校図書主任・学校司書・図書館職員による担当者レベルの情報交換を再開しており、学校からの要望伝達や図書館からのお知らせ等の場としている。他の学校・図書館でも同様の情報交換に取り組み新たな連携事業の展開につなげる 市立図書館において実施されている、団体貸出をはじめとする各種既存事業や、新規事業（一人一台タブレット端末への情報配信、授業での休館日開放など）について、学校図書主任や学校司書からも担任等に周知し、市立図書館の積極的な活用につなげる。
指導課	(45) 学校図書館の資料の充実 (46) 学級文庫の充実	各教科の学習内容や児童生徒のニーズを考えあわせ、各学校の実態に応じた選書を進めていく。
中央図書館 (全部署)	(1) 本の読み聞かせや家読の推奨 (36) 図書館利用の推奨	<p>家読（うちどく）マークの作成及び活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 図書館では家読をPRするため「家読マーク」を作成し、児童向けの図書館報などに使用している。作成した家読マークのデータを関係各課にも提供し、家読のPRに活用してもらう。
中央図書館 (各学校) (指導課)	(1) 本の読み聞かせや家読の推奨 (23) 児童・生徒向け図書館報の発行 (24) 児童・生徒向けブックリストの発行 (60) SNSの活用の検討	<p>市立図書館からの児童生徒向け情報の発信強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 小中学校では児童生徒に1人1台タブレット端末が貸与されていることを活用し、図書館報「ティーンズレター」「としょかんはらっば」や、図書館職員が小中学生に薦める本を掲載したブックリスト「よんでみて!」、新着本の情報、図書館での子ども向けイベントの情報などを、学校経由でタブレット端末に配信する。（紙媒体での配布は一部廃止）
中央図書館 (各学校) (指導課)	(31) 障がいのある子どもの読書活動の支援	<p>障がいのある子どもの読書活動の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央図書館のこどもとティーンズのフロア内に障がいのある子どもも楽しめるマルチメディアDAISY、点字付きさわる絵本、布の絵本等を集めた「りんごの棚」を設け、学校等にもPRを依頼し、読書支援を行う。
中央図書館 (各学校) (指導課)	(33) 中高生の図書館事業への参加	図書館休館日に中央図書館を開放し、中央図書館を会場に授業を行ってもらおう。そのなかで、児童生徒に図書館の利用方法を紹介し、読書活動や調べ学習に役立ててもらおう。
障がい福祉課 (図書館)	(31) 障がいのある子どもの読書活動の支援	市立図書館のハンディキャップサービスや電子図書館について、障がい福祉のしおりや、今後、図書館から配布されるPRチラシにより周知を図る。